

▽心中女人堂

帝キネ音屋時代映畫

脚色者 上島量氏
監督者 山下秀一氏
撮影者 塚越成治氏

主要役割

雜賀屋與治右衛門 片岡 童十郎氏
女房おてい 尾崎 静子嬢
娘お梅 久野 おかね嬢
祐辨法印 青木 芳美氏
飛脚九兵衛 嵐 駒運兒氏
佛具師作次郎 林 誠太郎氏
成田久米之介 中村 小福氏

解説——「忠臣蔵」について山ト秀一氏が監督製作した時代劇である。

略筋——高野山麓紙屋の宿で紙屋小町と謳はれた雜賀屋娘お梅には二世までもと契つた戀人久米之介と呼ぶ美しい雅兒があつた。佛具師の作次郎はお梅の美貌に魂奪はれ養子にと申込んだ。折柄主人與治右衛門の派手好きから家産の傾いた雜賀屋では作治郎の持つ金に目をつけ又なき婿さ承知した。戀し合つてゐる久米之介とお梅の二人は驚きかつ悲しんだ。その後久米之介は女犯の罪を師匠に知られ山を追い出されたのでお梅と共に永遠の戀に生くべく雜賀屋を逃れ出た。お梅に戀人のあるのを知つた作次郎は二人の後を追ひ二人を刺さんとした時それを止めた久米之介の及に仆された。世に望みを失つた若き二人は先立つ罪を詫びつゝ高野の山の露と消えたのである。